

【児童通所支援事業所 さくらんぼ：児童発達支援 自己評価 集計結果】

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	3	
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2	・配置人数としては適切であると思うが、状況によっては足りないと感じることがある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9		・フロアには段差がなくバリアフリーになっている。 ・活動ごとにスペースを分けている。
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	1	・冬場は冷え込むため、床暖房等あればと思う。 ・清掃業者が入り、清掃を行っている。また、毎日職員がドアノブなど不特定多数の児童が触れる部分を中心に消毒を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	6	3	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9		・保護者からの事業所評価や苦情等を職員間で共有し、改善に努めている。 ・毎年事業所評価を実施し、集計・公表を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9		・事業所評価の結果をホームページに掲載し、職員にも周知している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9		・ISO外部監査を受審し、取得している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		・各職員の力量等に応じた研修に参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9		
	11	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4	・事業所独自のアセスメントシートや分析表を活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	9		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9		・各担当を決め、月ごとにミーティングで話し合っている。(3)
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	3	・各担当で工夫しているが、固定化している部分もあると思う。 ・製作活動やレクリエーションの内容、おやつ作りの内容に幅を持たせている。(2)
	16	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9		
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	・朝礼等、打ち合わせ等はあるが、支援について話し合う時間が増えればもっと充実すると感じる。 ・会議等で情報共有がある(2)
	18	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	8	1	・支援の振り返りの時間をもう少し増やせると良いと思う。 ・終礼では、児童の様子やその日気になったこと等を申し送っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		・ケース記録として個々の児童の様子等を記録している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9		・定期的に見直しを行っている他、面談やケア会議後に計画内容を変更するなどの見直しを行っている。(2)
	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		
	22	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	2	
	23	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	3	・かかりつけの病院等を把握し、いつでも連絡が取れる体制を整えている。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合)子供の主治医や協力医療機関等の連絡体制を整えているか	5	4	・かかりつけの病院等を把握し、情報の変更等あれば、保護者から教えてもらっている。(2)	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		9	・保育所等への見学、学校の教職員とのケア会議を行っている。今後そのような機会がもっと増えればと感じる。(2) ・面談や訪問、見学を通して情報共有を図り、統一した支援ができるよう努めている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		9	・必要時に情報共有等を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		9	・事業所見学や研修はあるが、もっと機会が増えると良いと思う。 ・研修会や会議等に参加できている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子供と活動する機会があるか		7	2	・近隣に保育園があり、園庭での関わりや合同で行事を行っている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		6	3	・児童発達支援連絡協議会、放課後等ティサービス連絡協議会(共に郡山市子ども支援部会に属する協議会)に参加している。
	30	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解をもっているか		9		・迎え時に様子を伝えたり、年2回の面談の他、随時共有する機会設けている。(3)
	31	保護者に対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		7	2	・送迎時や連絡帳でのアドバイスや勉強会の開催、研修会等のお知らせ(情報)を提供している。
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		9	
		33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		9	
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		9		・送迎時や連絡帳、年2回の面談の実施等、随時相談支援を行っている。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		9		・保護者交流会を開催し、保護者同士が関わる機会を設けている。
36		子供や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		9		・送迎時や連絡帳、年2回の面談の実施等、随時相談支援を行っている。
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか		9		・広報誌(月1回)、ホームページ(毎週1回更新)にて発信している。(2)
38		個人情報の取り扱いに十分注意しているか		9		・請求書類等の配布では、渡し間違いによる個人情報漏洩がないよう、ダブルチェックで確認している。 ・カルテ類の保管場所は決められており、施錠されている。(2)
39		障がいのある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		9		・できないことよりもできることに注目し伝えるよう心掛けている。
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っているか		8	1	・秋まつりを開催し、地域住民にも来ていただくことで、福祉施設や福祉サービス、障がいへの理解等を得る機会を作っている。(4)
非常時等の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		9	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		9		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん等の子供の状況を確認しているか		9		・処方箋の提出依頼、予防接種の確認を行っている。 ・てんかん発作がある場合には、事前に発作の頻度や状態、対応方法等を把握し周知している。(2)
	44	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか		8	1	・医師の指示に基づいた対応を保護者から聞き、除去等の対応を適切に行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		9		・施設全体でヒヤリハット、事故の内容、対応策を共有し事故防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		9		・虐待防止委員会や虐待についての勉強会に参加している。(2)
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		9		・契約時に、拘束を受けることはない場合でも、どのような場合、場面が拘束とみなされ、同意をいただくことになるのかを説明している。